

ももが行くほかいどう

くいしん坊のスロー旅

vol. 74

美味しいジンギスカンを楽しめる

羊牧場が手がけるレストランの巻



曾祖父のレンガ倉庫を改造して

今回のスロー旅は美深町へ。松山湿原のある仁宇布で羊牧場を営む松山農場の柳生好輝さんとレストランBSBを任されている妻の妃世さん、畑作を担当する弟の政寛さんを訪ねました。

駅から予約制のデマンドバスに乗り松山農場へ。好輝さんが出迎えてくださり、羊たちを見学。取材に行った三月上旬は、冬場の出産ラッシュの終わり頃。大きな羊舎の中ではお母さんと一緒に仔羊の月齢ごとのグループに分けられて育てられています。乳離れすると仔羊だけで生活するそうです。「一歳以上二歳未満の仔羊ホゲットを出荷しています」と好輝さん。

美深駅近くで、妻の妃世さんが切り盛りしているレストランBSBは二〇一九年にオープンしました。曾祖父が約百年前に建てたレンガ倉庫を改装した建物はとても風情があります。おすすめのホゲットのジンギスカンをいただきましたが、臭みはほとんどなくとても美味しい。塩胡椒で食べると素材のうまさ引き立ちます。自家製のたれは醤油ベースでさっぱりとした味わい。野菜とお肉と一緒に味わうのがおすすめです。また、弟の政寛さんが栽培した蕎麦を使ったサラダや羊のポロネーゼなど自家製の素材を活かしたメニューがたくさんあります。



●文・絵／すずきもも
イラストレーター&絵本作家。さまざまな媒体のイラストやエッセイ、絵本の執筆などで活躍。札幌市在住。



レストランBSB (松山農場)

中川郡美深町大通北4丁目9 (JR美深駅下車、徒歩約10分(約528m))
TEL:01656-8-7123 <https://matsuyama-farm.com/bsb/>
定休日:無休 営業時間:11:30~21:30

家族でそれぞれの役割を担って

柳生家は曾祖父が美深で澱粉^{でんぷん}の卸業を営み(レストランの建物はその保管倉庫)、一時小樽へ移住したそうですが、お父さんの柳生佳樹^{よしき}さんは生まれた美深で牧場を始めたといターン。それから約四十年、羊に關わってからは約三十年以上が経つそうです。農場名の松山は仁宇布にある名称から。この仁宇布は村上春樹の「羊をめぐる冒険」の舞台になったとも言われています。

農場経営のかたわら、お父さんは「ファームイントン」を運営し、シープミルク、アイス、ヨーグルトなどの乳製品や白樺樹液製品などを生み出し、それぞれを事業化しています。「父はアイディアマンでやりたいことを形にしては、この続きはよろしく」と僕たちに託すんです」。長男の好輝さんは農場に戻る前は札幌で保育士を、妻の妃世さんは観光の仕事で、弟の政寛さんはニュージーランドへ行っていたそうです。いつかは家に戻って仕事をするのだらうな」と漠然と思っていたという好輝さん。美深に戻ってお父さんがやってきたさまざまな事業を妻や弟と継承して、それぞれ役割を担っています。

「自身たちの夢はと聞くと、今は安定して続けるだけでいいっぱい」と、笑いながら話す三人はとても楽しそうです。お父さんが引いたレールにはしっかりと愛情がこもっているのだな、と思いました。